日本史探究(第4回)確認テスト(やさしい日本語版)

	もんだい 問題	こたえ 答え せつめい か 説明を書きましょう
1	莊園 しょうえん	
2	上皇 じょうこう	
3	院政 いんせい	
4	保元の乱 ほうげんのらん	
5	平治の乱 へいじのらん	
6	平清盛 たいらのきよもり	

7	源頼朝 みなもとのよりと	
8	征夷大將軍 せいたいしょうぐん	
9	鎌倉幕府 かまくらばくふ	
10	御家人 ごけにん	
11	守護と地頭 しゅごとじとう	
12	御恩と奉公 ごおんとうこう	

	<p style="text-align: center;">もんだい 問題</p>	<p style="text-align: center;">こた 答え</p> <p style="text-align: center;">ごく 語句を か 書きましよう</p>
1	<p>なら じだい せんごくじだい 奈良時代から戦国時代にかけて、貴族や寺社が私有した とち 土地。</p>	
2	<p>たいい てんのう 退位した天皇</p>	
3	<p>たいい あと てんのう せいじ おこな じぶん こ 退位した後の天皇が、政治を行うこと。自分の子どもや まご てんのう けんりよく も 孫が天皇になっているので、権力を持つことができた。</p>	
4	<p>ねん すとく じょうこう ごしらかわ てんのう たいりつ ふじわらし 1156年、崇徳上皇と後白河天皇の対立に、藤原氏の ないぶ たいりつ げんじ へいけ ぶりよく くわ お あらせ 内部の対立と、源氏・平家の武力が加わって起きた争 い。崇徳 上皇側が敗れ、上皇 は讃岐に流され た。</p>	
5	<p>ねん ふじわらのみちのり たいらのきよもり ふじわらののぶより 1159年、藤原通憲と平清盛、vs 藤原信頼と みなもとのよしとも あらせ たたか か たいらのきよもり のち 源義朝の争い。戦いに勝った平清盛が、後に だじょうだいじん 太政大臣になった。</p>	
6	<p>ねん ねん へいあんじだい まつき へいし いちぞく ぶしょう 1118年～1181年。平安時代末期の平氏一族の武将。 ほうげん らん へいじ らん げんじ たたか か ちやうてい 保元の乱と平治の乱で源氏との戦いに勝ち、朝廷で けんりよく にぎ ねん ぶけ 権力を握った。1167年には武家としてはじめて だじょうだいじん 太政大臣となった。</p>	
7	<p>ねん ねん かまくらばくふ しょだいしょうぐん つま 1147年～1199年。鎌倉幕府の初代将軍。妻は ほうじょうまさこ 北条政子。</p>	

8	<p>かまくらじだい いこう ぶけ せいけん いちばんうえ くらい 鎌倉時代以降、武家政権の一番上の位。</p>	
9	<p>みなもとのよりとも かまくら ひら ぶけ せいけん さむらいどころ 源頼朝 が鎌倉に開いた武家政権。侍所 まんどころ もんちゆうじよ みつ きかん ねん めつぼう 政所・問注所の三つの機関がある。1333年に滅亡した。</p>	
10	<p>かまくらじだい しょうぐん しゅじゅうかんけい むす ぶし 鎌倉時代に将軍と主従関係を結んだ武士。</p>	
11	<p>かまくらじだい にほん かくち ちあん まも しゅご ぜい 鎌倉時代、日本各地の治安を守るために「守護」を、税 あつ じとう お を集めるために「地頭」を置いた。</p>	
12	<p>しょうぐん ごけにん とち ちい あた おん たい 将軍が御家人に土地や地位を与え、その恩に対して ごけにん しょうぐん たい めい しごと かまくらじだい 御家人が将軍に対して命じられた仕事をする、鎌倉時代 しょうぐん ごけにん かんけい の将軍と御家人の関係。</p>	